

# オビツ11サイズ二人掛けソファ製作マニュアル(前編)


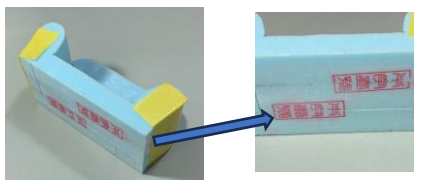



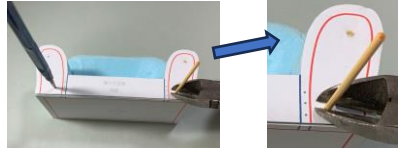
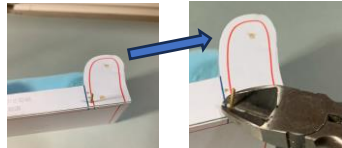


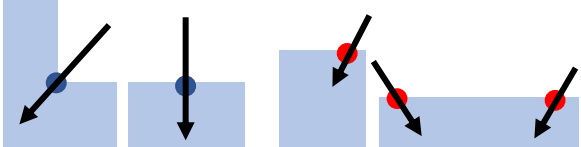
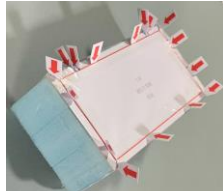


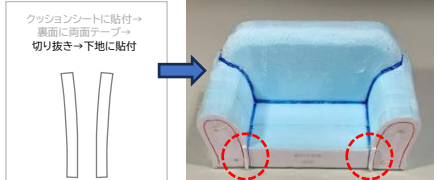
## 【キット内容】

- ・スタイロフォームの下地パーツ(20mm厚×3枚)
- ・下地用型紙(背面、前面、底面)
- ・下地補強用串(爪楊枝×4、細竹串×6)
- ・クッションシート型紙
- ・綿付き型紙
- ・台紙
- ・布用型紙
- ・底布型紙
- ・製作マニュアル(前編)

## 【ご用意いただく用具、資材・消耗品】

- ・スチのりまたは木工ボンド
- ・マスキングテープ
- ・両面テープ
- ・ハサミ
- ・目打ち(下地補強用串の差し込み穴明けに使用)
- ・ニッパー
- ・デザインカッター
- ・セロテープ

## 1. 下地作成

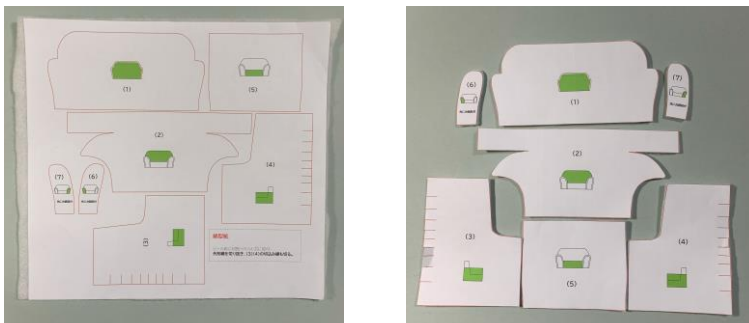
<p>スタイロフォーム下地パーツをスチのり(発泡スチロール用接着剤でも可)または木工ボンド接着します。</p> 	<p>下地パーツの底面の合印をピッタリ合わせて接着し、完全に接着するまでマスキングテープなどで固定します。</p> 	<p>下地用型紙(底面)の裏全面に両面テープを貼り、前後に注意して下地の底面に貼付けます。</p> 
<p>下地型紙(背面)を切抜き、下地の背面に貼付けます。(底面と線がつながるように貼ります)</p> 	<p>下地型紙(前面)を切抜き、下地の前面に貼付けます。(底面と線がつながるように貼ります)</p> 	<p>目打ちで下地前面の茶色の印4カ所に穴を明け、爪楊枝に木工ボンドをつけて、垂直に2cm(マークがついています)差し込み、ニッパーでギリギリを切ります。</p> 
<p>目打ちで下地前面の緑色の印6カ所に穴を明け、細竹串に木工ボンドをつけて、垂直に1.5cm(マークがついています)差し込み、ニッパーでギリギリを切ります。</p> 	<p>下地用型紙(底面)、(背面)、(前面)の周囲一周をそれぞれセロテープで補強します。</p>  <p>曲がったところには細かく切れ目を入れて折り込みます。</p>	
<p>下地のすべての線にデザインカッターで深さ7mmの溝を切ります。カッターの刃にサインペンなどで7mmの深さをマークしておくといでしょう。なお、下図のように赤線と青線ではデザインカッターで切る方向が異なります。</p> <p>&lt;青い線の切り方&gt;      &lt;赤い線の切り方&gt;</p>  <p>下地の端に近い赤い線はまっすぐ切ると布を差し込んだ時に下地がめくれてしまうので、内側に向けて斜めに切ります。</p>	<p>底面のすべての線にデザインカッターで深さ7mmの溝を切ります。</p> 	
<p>背面のすべての線にデザインカッターで深さ7mmの溝を切ります。</p> 	<p>前面と座面のすべての線にデザインカッターで深さ7mmの溝を切ります。</p> 	<p>クッションシート型紙をデザインカッターで切り抜き、下地の前面に貼付けて下地が完成です。</p> 

## 2. パーツ準備

### (1) 綿型紙の切り取り

キルト芯に貼り付けた綿型紙を外形線で切り抜きます。(3)(4)は切込み線もすべて切ります。

綿型紙を使うときには、**はがさず**にそのまま下地に貼り付けます。



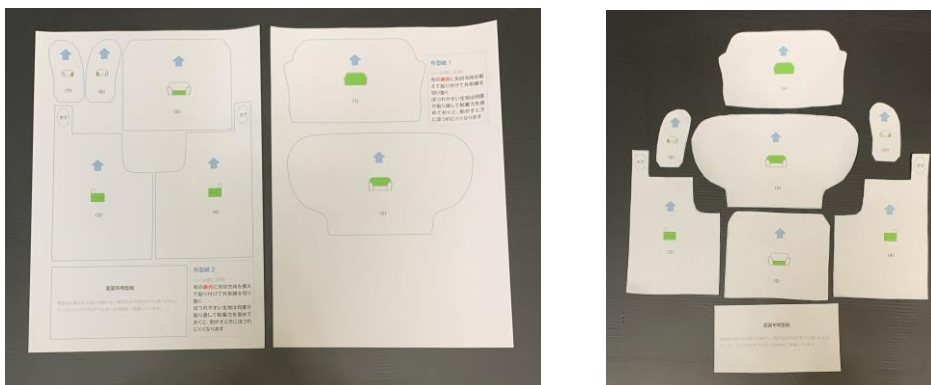
### (2) 布型紙の切り取り

布型紙はシール紙に印刷されています。ソファを張る布地の**裏側**に布型紙の矢印を合わせて貼り付けます。

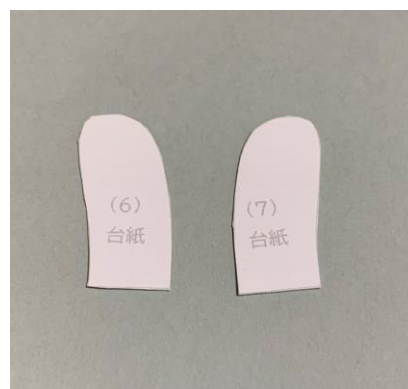
布を使うときには、布型紙を**はがして**下地に張り込みます。

端がほつれやすい布を使用するときには布型紙を何度か貼り直して粘着力を弱めておくとはがすときにほつれにくくなります。

底面は人形にも人目にも触れない場所なので別の布でも構いません。ワークショップではダブルガーゼを数色ご用意しています。



### (3) 台紙の切抜き



# オビツ11サイズ二人掛けソファ製作マニュアル(後編)

## 【キット内容】

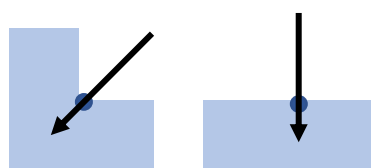
- ・スタイロフォームの下地(前編で完成済)
- ・綿付き型紙(前編でカット済)
- ・台紙(前編でカット済)
- ・脚セット(こげ茶、ベージュ、赤、緑、黄、ピンク、オレンジから1色)
- ・布用型紙(前編でカット済)
- ・底布型紙(前編でカット済)
- ・製作マニュアル(後編)

## 【ご用意いただく用具、資材・消耗品】

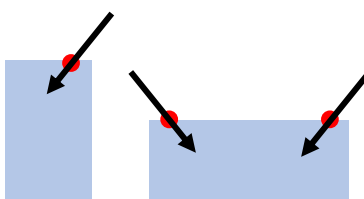
- ・ハサミ
- ・ヘラ(スパチュラ等各種、布の差し込みに使用)
- ・目打ち(脚の取付け位置の穴明けに使用)
- ・木工ボンド(脚の固定に使用)
- ・両面テープ(綿型紙、台紙の固定に使用)
- ・マスキングテープ(綿の固定に使用)

スタイロフォームの下地には線が引かれていて、線の上からカッターで深さ約 7mmの溝が切られています。線には赤い線と青い線があり、それぞれ溝を切る方向が異なります。

### <青い線の切り方>



### <赤い線の切り方>



下地の端に近い赤い線はまっすぐ切ると布を差し込んだ時に下地がめくれてしまうので、内側に向けて斜めに切っています。

下地にヘラを差し込んで、何か所か溝の方向を確認してみてください。

実際に布を張るときには、溝は布に隠れて見えませんから、ヘラを差し込んで、あらかじめ溝の場所、方向、深さをたびたび確認しながら作業すると綺麗に仕上げることができます。



[下地]



[ヘラ]※

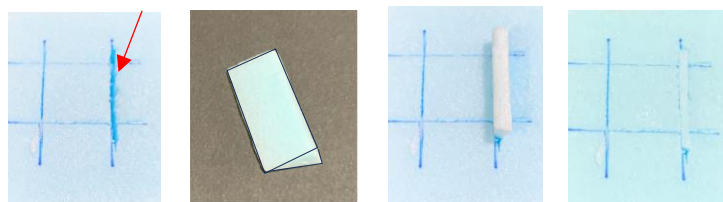
※ワークショップでは①ミネシマ(Mineshima) 細工ヘラ TM-102、②タミヤの調色スティックを加工した自作品、③木目込み細工用ヘラをご用意しています。スパチュラやコーキング用ヘラを使われる方もおられます。

綿型紙と布型紙の番号順に綿を挟みながら布を溝に挟んで張り込んでいきます。

- (1) 背板裏
- (2) 背板表
- (3) 肘掛左
- (4) 肘掛右
- (5) 座面
- (6) 肘掛左前(綿の前に台紙を貼る)
- (7) 肘掛右前(綿の前に台紙を貼る)
- (8) 底(布のみで綿なし)

### <レスキュー>

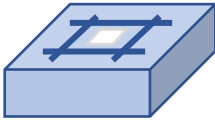
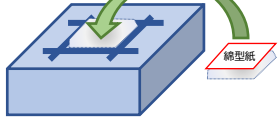
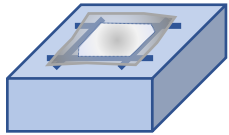
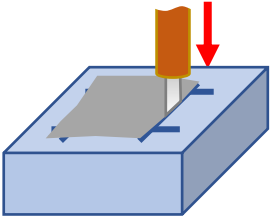
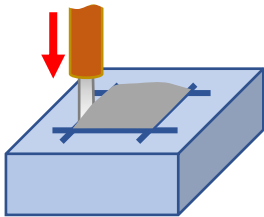
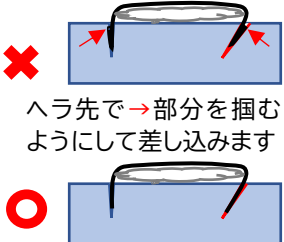
布を張っている途中で溝が広がり過ぎて布が抜けてしまう状態になった時には、余ったスタイロフォームをクサビ形に切って広がった溝に埋めると、支持力が回復します。



最後に目打ちで底に 4 か所穴を明け、脚の先端に木工ボンドを少量つけて脚を差し込みます。

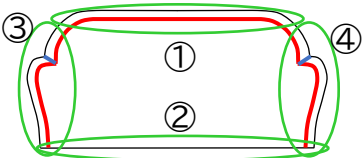

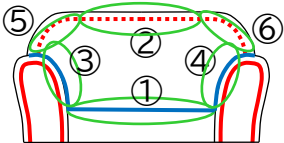
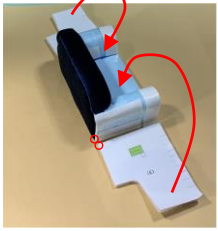
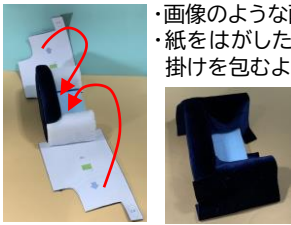

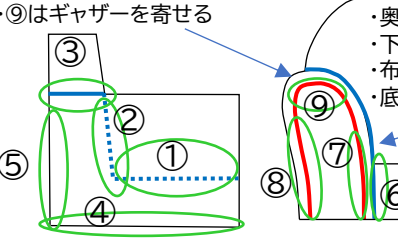
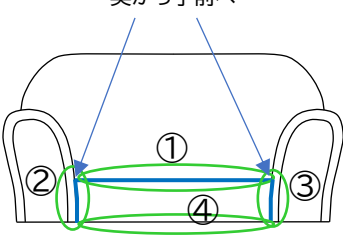
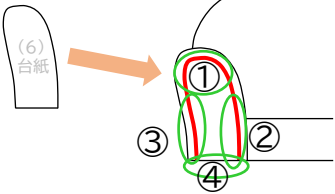

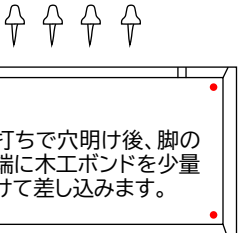
脚のがたつきを調整して完成です。(カタカタ音のする脚ではない方の脚を押し込んで調整します)

# 布を張る手順

<p>(1)張る区画に両面テープをつけます。</p> 	<p>(2)綿パーツの紙をはがさずに、区画の線にかからないように、型紙を裏返して綿を上に向け、型紙の側を貼り付けます。</p> 	<p>(3)布パーツの紙をはがして、区画の上に布をかぶせます。</p> 
<p>(4) 差し込み位置の周辺を指で押さえながら布の端をヘラの先で掴むように切れ目に布を差し込みます。赤い線の切れ目はとくに差し込み方向に注意してください。</p> 	<p>(5)一区画の周囲すべての切れ目に布を差し込みます。 余った布が出る時は一周すべて差し込んでから切り落として布の端を差し込みます。</p> 	<p><b>POINT</b> 切れ目の内部で布が二重にならないように注意してください。</p>  <p>× ヘラ先で→部分を掴むようにして差し込みます</p> <p>○</p>

・各区画は一周ぐるりと布を差し込み終わってから、余り布を切って全体がピンと張るように全体を調整します  
・1区画全体がシワなく、たるみなく、ピンと張った状態にするのが目標です。

## 各区画の作業手順 ①, ② …は布張りの順序を示しています。

<p>(1)背板裏 ①→②で縦方向を張ってから、③→④で横方向にたるみを取っていくイメージです。</p> 	<p>(2)背板表 綿のつなぎ目の段差が気になるときは、マスキングテープを貼ってください。</p> 	<p>①は深めにしっかり差し込み、③、④は下から上に引っ張りながら、せり上げるように差し込みます。表側をしわなく張って、余り布を後ろ側に引っ張っていき、⑤、⑥でギャザーを寄せます。</p> 
<p>(3)(4)肘掛左、右 の綿型紙、布型紙の下地への合わせ方(実際は綿→布の順に進めますが便宜上(3)(4)を同時に見せています)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="134 1317 762 1547">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・両面テープを背面はぴったり、前面は2mm程はみ出して貼る</li> <li>・綿型紙と下地の赤丸部分を合わせて、下地に沿って背面はぴったり、前面は2mm程はみ出して、綿型紙で肘掛けを包むように貼る</li> <li>・前面にはみ出した綿は折り込む</li> </ul> </div> <div data-bbox="799 1323 1091 1547">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・画像のような配置で布型紙を置く</li> <li>・紙をはがした後で綿型紙と同様に肘掛けを包むように下地にあてる</li> </ul> </div> <div data-bbox="1134 1406 1501 1547">  <p>次項⑥⑦の説明図を横から見るとこうなります。⑥を差し込んで⑦に移るところです。</p> </div> </div>		
<p>(3)(4)肘掛左、右 ⑨はギャザーを寄せる</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・奥から手前に布のタブを引っ張りながら①に差し込む</li> <li>・下方向に布のタブを引っ張りながら⑥に差し込む</li> <li>・布のタブを逆U字に曲げながら⑦に差し込む</li> <li>・底の短い線にも丁寧に差し込む</li> </ul>	<p>(5)座面 奥から手前へ</p> 	
<p>(6)(7)肘掛左前、右前 台紙を貼る→綿を貼る→布を張る</p> 	<p>(8)底(布のみで綿なし) 全面に両面テープを貼って布を貼り付け後に周囲を差し込みます。</p> 	<p>(9)脚の取付け</p>  <p>目打ちで穴明け後、脚の先端に木工ボンドを少量つけて差し込みます。</p>